

ガバナー補佐方針

郡山北 RC 吉田喜一

2026-27 年度中央分区ガバナー補佐を拝命いたしました郡山北ロータリークラブ所属の吉田喜一です。中央分区 9 クラブの皆さま方のご支援・ご協力を頂きながら 1 年間ガバナー補佐としての職責を果たして参る所存です。

金田昇ガバナーは「連携と連帯で、クラブに、地区に、一人ひとりに持続可能なインパクトを生み出そう」の地区活動方針を提唱されました。

これを踏まえ、私も、従来各クラブが単独で進めていた活動を、クラブの垣根を越えて広範囲に連携し、連帯して進めて行く場面を増やす必要があると思っております。その結果、ロータリアン同士の連帯感が強まり、そしてロータリーの公共イメージが向上することによって、さらに強固で、効果的なロータリーの構築が可能となって行くものと期待しております。

地域社会の多様な人たちがロータリークラブに入会することで、クラブに新鮮な視点とアイデアがもたらされ、クラブの魅力や存在意義が一段と高まって行くことでしょう。

企業や会社においては早急に答え出すことを迫られますが、ロータリーにおいては答えのないことを考え続けると言った姿勢や努力にこそ意味があるような気がします。我々ロータリアン一人ひとりが地道な活動を続け、種を蒔き続けることにより、必ず光が差してくるものと確信しております。

このためにも、ガバナー補佐としてガバナーの手・足・目・耳となって、ガバナーの思いが具体的な形となって結実する様、全力を尽くすと共に現状に甘えることなく、グッドからベターへ、そしてベターからベストを目指す挑戦の一年にしたいと考えております。

こうしたロータリー活動を通して自分自身も磨かれているという価値を共有し実感できる年となれば、これに勝る喜びはありません。

大竹幹夫・鎌田孝太郎分区幹事共々どうか宜しくお願い申し上げます。